

名寄市教育研究大会 「名寄東小学校の研修の概要」

平成30年11月14日（水）
名寄市立名寄東小学校 研修部

研修主題

「主体的・対話的で深い学び を実現する学習指導の工夫」

～授業構想シートを活用した

日々の授業づくりを通して～

【名寄東小学校の研修】

研修主題設定の理由

①学校教育の今日的な課題

⇒H28・12の中央教育審議会の答申を踏まえた

新学習指導要領改訂から

②自校における課題

⇒学習の様子、全国学力・学習状況調査、NRT検査など

③自校の校内研修の経緯

⇒前年度までの成果と課題から

研修主題のおさえ

「**主体的**・対話的で深い学び
を実現する学習指導の工夫」

学ぶことに**興味や関心**をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、**見通し**をもって粘り強く取組、**自己の学習活動を振り返って**次につなげる学び

研修主題のおさえ

「主体的・対話的で深い学び
を実現する学習指導の工夫」

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、
先哲の考え方を手がかりに考えること等を通じ、自
己の考えを広げ深める学び

研修主題のおさえ

「主体的・対話的で**深い学び**
を実現する学習指導要領「工夫」

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して**考えを形成**したり、**問題を見いだして解決策を考え**たり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう学び

求める児童像

日々の授業改善

教職員が感じている日常の子ども達の学習の様子から感じた実態

各種調査(全国学力・学習状況調査・NRT調査)から明らかになった実態

求める児童像

【児童像① 主体的】

物事の中から**課題**を見だし、**解決への見通し**をもって取り組む子

【児童像③ 対話的】

他者との交流から新たな**気づき**や**発見**をもち、考えを**深める**子

【児童像② 対話的】

自分の考えを、筋道立てて**記述**したり**説明**したりできる子

【児童像④ 主・対】

学習を**振り返り**、学ぶことの**価値**を見いだしたり、学びの**手応え**を**実感**したりする子

【名寄東小学校の研修】

主題に迫るための3つの重点

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

【重点②】

「学習の**基盤**」づくり

【重点③】

授業改善の**日常化**を図る研修体制の確立

【名寄東小学校の研修】

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

学習の様子や各種調査に基づいて、子どもの実態を把握する

全国学力・学習状況調査(H30・4実施)
NRT調査(H30・4実施)

実態から、取り組みを具体化し
教科や学年を問わず、日常の授業改善を図る

【名寄東小学校の研修】

【重点①】「求める児童像」を実現する指導の手立ての明確化

全国学力・学習状況調査(H30・4実施)からみえた課題

○知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し 評価・改善する力などに関わる内容(**B問題**)に主に課題が見られる。

【国 語】

⇒与えられた条件を満たして書くこと(文字数、言葉や文の引用など)

【算 数】

⇒日常生活の事象を数学的に処理する問題の場面や設問を読み取ること

⇒示された考え方を解釈し、その考え方を適用しながら自分の考えを数学的に表現すること

⇒複数の情報を関連付けて考察し、数学的に表現したり、適切に判断したりすること

○児童質問紙調査で、次の事項は全国・全道より低い傾向が見られた。

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。

授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。

社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「面白いな」などと思う。

【名寄東小学校の研修】

【重点①】「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

NRT調査(H30・4実施)からみえた課題

- 学習の基礎となる知識及び技能の定着について、次の事項に課題が見られる。

国語⇒読むこと 算数⇒数と計算、数量関係

【名寄東小学校の研修】

【重点①】「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

実態を踏まえ、次の3点から日常の授業改善を図る

- ①「主体的・対話的で深い学び」に向かう**具体的な子どもの姿**とその姿を**実現するための手立て**の明確化
- ②**問題解決的な学習過程**における、**求める学びの姿**を実現するための**手立て**の明確化
- ③問題解決的な子どもの学びのプロセスに、**自分の思いや考えを書く活動**を位置づける

【名寄東小学校の研修】

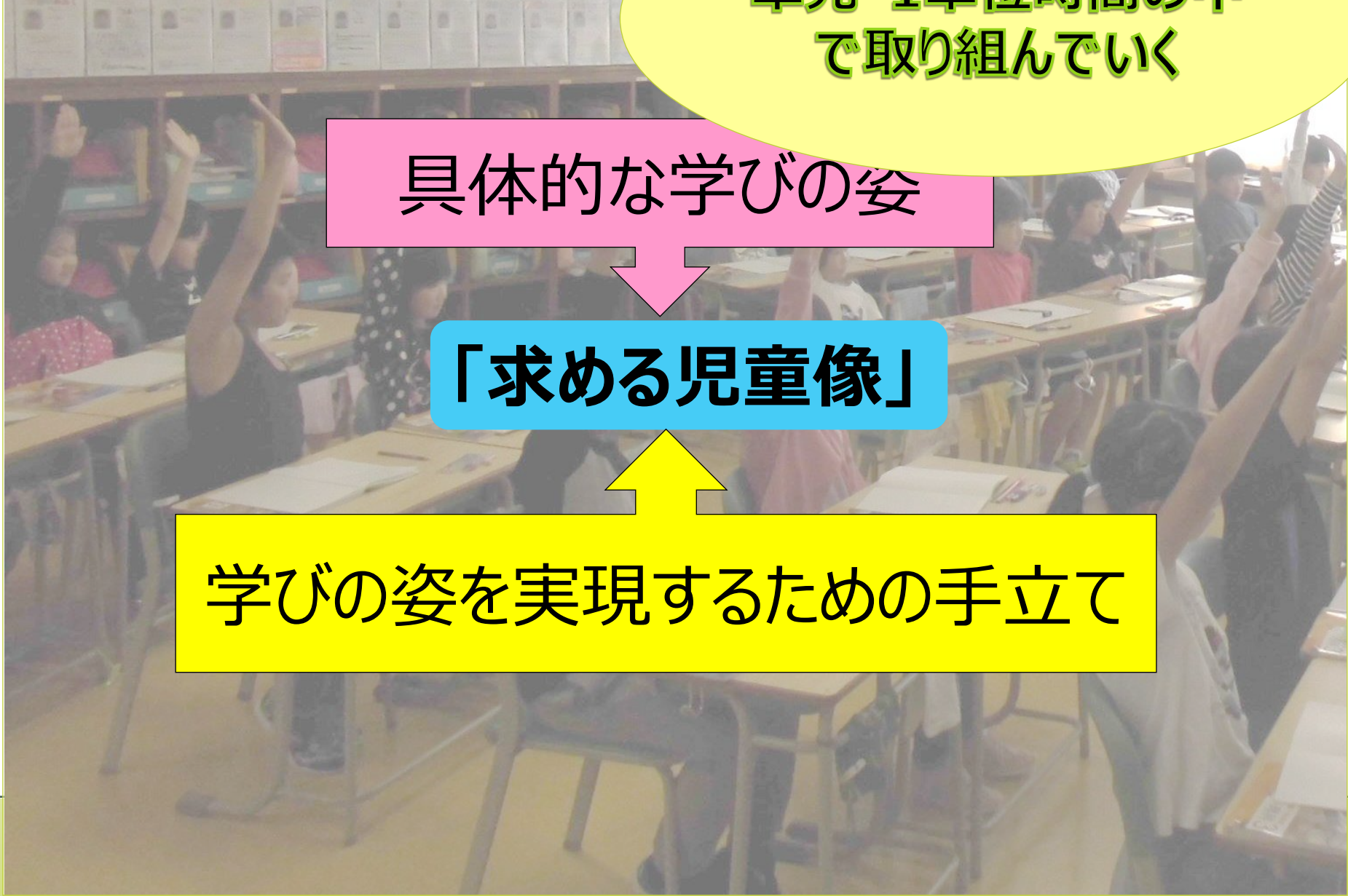
【重点①】「求める児童像」を実現する

単元・1単位時間の中
で取り組んでいく

具体的な学びの姿

「求める児童像」

学びの姿を実現するための手立て



【名寄東小学校の研修】

【重点①】「求める児童像」を実現する指導の手立ての明確化

通常学級

通常学級における「求める児童像」	
主體的な学び	学級の姿を実現する手立て
求める児童像① 物事の中から課題を見いだし、課題を解決しようとする子 その具体的な学びの姿は… ・物事の中から課題を見いだしている。 ・課題を解決しようとしている。	課題設定 ・子どもの学習経験や生活経験を踏まえて、課題を設定する。 ・課題を設定する際、学習課題を設定する。 ・学習課題を設定する際、学習課題を明確にする。 ・学習課題を明確にする際、課題を解決しようとする場面をつくる。 ・課題を解決しようとする場面をつくる際、課題を解決しようとする場面をつくる。
求める児童像② 自分の考えを、相手と共有し、相手の考えを整理する場面を設ける子 その具体的な学びの姿は… ・自分の思いや考えをもっている。 ・自分の考えを、引用したり、式、図表やグラフなどを用いたりして、わかりやすく書いている。 ・自分の考えを、与えられた条件(文字数、引用等)を満たすように書いている。 ・自分の考えを、相手に伝わるように話している。 ・聞き手の質問にわかりやすく答えている。 ・何のために話しているのかという目的をとらえて話している。	学びの姿を実現する手立て ・自分の考え、意見を区別して表現する場面を設ける。 ・引用したり、式、図表やグラフを用いたりして表現する場面を設ける。 ・自分の考えをまとめる際に、条件を考える。 ・表現活動の際に、自問自答、相手意識、場面意識等をもちさせる。 ・ペーパーやグループ学習など学習形態を工夫し、話しこへの抵抗を減らす。 ・わかりやすく話すための話し構成を考えさせる。 順序 …はじめに～次に～最後に～ 理由 …1つは～、2つめは～ 事例 …私は～です。なぜなら(理由は)～からです。 …～は～です。例えば～
求める児童像③ 他者との交流から新たな気づきや発見をもち、考えを深める子 その具体的な学びの姿は… ・他者の話からたくさん情報を集めている。 ・自分と他者の考えを比較して、共通点・相違点を見つけている。 ・話を聞いて疑問に思うことを質問している。 ・他者の考えとつながり、自分の考えを述べている。 ・相手に応答することを通して、自分の考えを整理しまとめている。 ・他者と協力し合って、問題を解決しようとしている。	・子どもが相互に意見をやりとりする学習場面を設定する。 ・ゲスト・ティーチャーを活用するなど、他者とふれあう体験的な活動を設定する。 ・話を聞く際に、話し手の目的や自分が聞こうとしている意図を明確にできるようにする。 ・多様な意見を交換する場を設ける。 ・多様な考えを分類・整理し、話し合いの観点を明確にする。 ・話を聞いて、考えの共通点・相違点をまとめる。 ・他者の考えとつながり、自分の考えを述べる原動力をもちさせる。 ○○さんと似ていて～です。 ○○さんと違って、～です。(相手の立場を尊重した) ○○さんの話を聞いて～です。(相手の意見を引用するなどして、質問や意見を述べた) ・多様な考え(情報)が可視化され操作化される場づく ・思考ツールを活用させる。 ・互いの良さを見つけ合う相互評価の場を設定する。 ・他者と協力し合うことで、「問題を解決できた」「一つの課題を解決できた」といった体験を積ませる。 ・他者との交流によって、考えが変わったといった体験を積ませることで考えがはつきりした、他者との交流によって知識をいっしょに～とした、複数の考えをつなぐことで新たな気づきが生まれた)と、 「○○さんのおかげで、わかるようになった、できるようになった」というように振り返らせる。
求める児童像④ 学習を振り返り、学びの手応えを実感したりする子 その具体的な学びの姿は… ・他者との交流から、自分の良さに気付いている。 ・他者との交流を通して、自分の考えがどのように変わったのかを自覚している。 ・協力し合って、問題を解決する事に喜びや楽しさを感じている。 ・他者との交流から多くの学びを得られたことに、充実感や達成感をもっている。	「主体的な学び」「対話的な学び」の観点から、子どもの学びのプロセスを充実させる ① 知識と知識を組み合わせて、より高次の概念的知識を構築している。 ② 個別の手続きに関する知識が関連付けて構造化し、身体と一体となつてなめらかな行動となり、技能が高まった状態となっている。 【生きて働く「知識・技能」】 ③ その問題の解決に適切な知識を自ら保持する知識の中から選択し、場面や状況に適合させて、必要に応じて知識を組み合わせて、問題状況を解決しようとしている。 【未知の状況にも対応できる 【思考力・判断力・表現力等】】 ④ 学習を通して充実感、達成感、自己有用感をもち、さらに学習や実生活に活かしたり、社会のために行動しようとしていたりする。 【学びを人生や社会に活かそうとする 【学びに向かう力・人間性等】】

特別支援学級における「求める児童像」	
主體的な学び	学級の姿を実現する手立て
求める児童像① 集中して意欲的に学習に取り組む子 その具体的な学びの姿は… ・学習対象に興味・関心をもっている。 ・学習課題を自分事としてとらえている。 ・学習のゴールを目指して、粘り強く取り組んでいる。	・子どもの興味・関心が高まるような教材を提示する。 ・活動の流れを提示し、学習の見通しをもちさせる。 ・既習事項を確認して、これなら解決できそうと思えるようなヒントを提示する。 ・課題解決までの手順を明確に示す。
求める児童像② 学習を振り返り、学びの手応えを実感できる子 その具体的な学びの姿は… ・振り返りを行い、「こんなことがわかった」「こんなことができるようになった」と自分の学びに気付いている。	・挙手による確認、発言、ふりかえりシートなどを活用し振り返りを行う。 ・「勉強したこと」「できるようになったこと」など、視点を与えて学習を振り返る場面を設ける。
対話的な学び 求める児童像③ 自分の考えや気持ちを表出している子 その具体的な学びの姿は… ・自分なりの思いや考えをもっている。 ・自分の考えを、相手に伝わるように話している。	・言葉、視線、表情、身振り、指さし、教員の言葉を媒介にするなど、どの方法で伝えるのかを明確にする。 ・何について伝えるのかを明確にする。 ・わからないことを教員や友達に聞く・相談するなど、困った時の方法を伝える。 ・子どもの実態に合った話型や選択肢を提示することで、考えを表出させる。
求める児童像④ 他者の話を聞こうとしている子 その具体的な学びの姿は… ・相手の話を聞きながら、自分の考えを整理しまとめている。	・話し手に注目するよう促す。 ・聞く目的を明確にする。 ※確認する、対比する(共通点・相違点の発見)、参考にする(発想を広げる)、よりよい考えを見つづける。

特別支援学級

【名寄東小学校の研修】

主題に迫るための3つの重点

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

【重点②】

「学習の**基盤**」づくり

【重点③】

授業改善の**日常化**を図る研修体制の確立

【名寄東小学校の研修】

- 支え合い高め合う集団づくり
- 子どもが落ち着いた雰囲気の中で学習に集中できる環境づくり

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり

学校評価からみえた課題

- ⇒ 教職員アンケート「**全校体制で学習規律の定着**の徹底が行われているか。」について、集約結果の**ポイント**が下がった。
- ⇒ 名寄市学習のきまり10項目をもとにして作成された東小の学習規律であるがPDCAのサイクルを生かしながら、**実態に合ったスタンダード作り**が必要である。
- ⇒ 発達段階に合わせた話し方や聞き方の型、具体を交流したり示したりし、より**質の高い深い学び方**につながる**授業構築**が必要である。

【名寄東小学校の研修】

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり

実態を踏まえ、「学習の基盤づくり」を行うために2点の取組を行う

- ①名寄市で示されている「名寄市学習のきまり」を踏まえ、「**学びの土台づくり**」の手引きとなる「**東小学びのスタンダード**」を作成し、学年・学級の枠を超えて共通して指導する事項に明確にする。
- ②子どもの**理解力・記憶力**向上の取組として、**詩の暗唱活動**を行う。

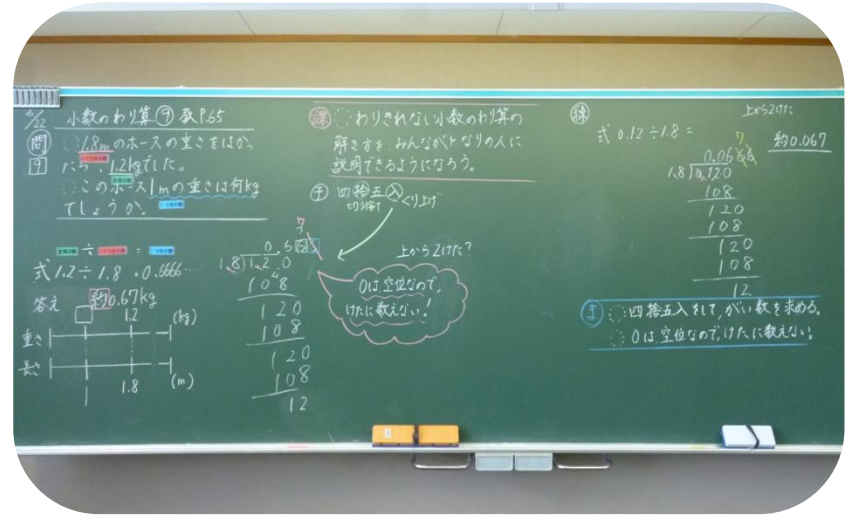
【名寄東小学校の研修】

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり～東小学びのスタンダード

平成30年度版

学校力向上を目指して！

東小学びのスタンダード



【名寄東小学校の研修】

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり

学年・授業者に関係なく同様の指導をすることで、学校全体の学習基盤を整えることができる

・板書 等

【子どもの実態に合わせて指導する内容】

- ・朝の会・帰りの会
- ・給食指導
- ・学習課程
- ・清掃活動
- ・ノート指導
- ・宿題・家庭学習

子どもへの定着度の確認
実態に合わせた内容の見直し

【名寄東小学校の研修】

【重点②】 「学習の**基盤**」づくり～詩の暗唱活動

・子どもの**理解力・記憶力**向上をねらいとして取り組む

※言葉の理解力や文意をとらえる力を高める

※正しい発音の仕方や間の取り方を身に付けさせる

※多くの教員と関わることで、人前で話す自信やコミュニケーション能力を養う。



【名寄東小学校の研修】

主題に迫るための3つの重点

【重点①】

「求める児童像」を実現する**指導の手立て**の明確化

【重点②】

「学習の**基盤**」づくり

【重点③】

授業改善の**日常化**を図る研修体制の確立

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修における運営上の課題

⇒全校研における授業協議会の成果が、**日々の授業改善に十分反映**されているか。

⇒多くの教員が授業を公開し、**相互に交流する場**があるか。研修主題や実践上の課題を意識して、**日常的に授業改善**に取り組んでいるか。

⇒校内研修会や授業協議会は、一人一人の教員が授業改善に役立てるための、**主体的な参加の場**となっているか。

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

課題を踏まえ、校内研修の運営を改善するために4点の取組を行う

- ① **授業構想シート**を活用した研修システムの構築
- ② 授業協議会の持ち方の工夫
- ③ 校内研修の進め方の工夫
- ④ 還流報告の工夫

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

授業構想シートを活用した研修システムの構築

⇒ **OJT (On the Job Training)** の理念

「実際の仕事を通して実践力を向上させる研修」の考え方に基づいたものである。

年間900時間近くある日々の授業を改善していくことこそが授業力向上につながり、子どもに確かな学力を育むために必要である。

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

授業構想シート【第 週 月 日(月)～ 月 日(金)の週】

月 日 校時 年生 教科()

1. 本時のねらい(身に付けさせたい資質・能力) ※ゴールの具体化:何ができるようになっていけばいいのか

2. 本時の課題(めあて)

3. ねらいにせまる学習活動(言語活動)

①体験から感じ取ったことを表現する活動
②事実を正確に理解し伝達する活動
③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする活動
④情報を分析・評価し、論述する活動
⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する活動
⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる活動
⑦その他

☆具体化☆

4. まとめ

5. 振り返り(自己評価)の方法(できた・わかったを実感させる手立て)

①挙手 ②確認問題 ③文章による記述 ④キーワードを提示した記述・説明
⑤A・B・C等による自己評価 ⑥自己評価カード
⑦その他()

6. (授業者 ・ 参観者) から(前時の内容、授業の見所、良かった点、改善点、次時の課題など)

見通し (分)

課題・解決の見通し (分)

個人思考 (分)

集団思考 (分)

まとめ (分)

振り返り(自己評価) (分)

取組の当初は…

- 本時のねらい
- 課題、まとめ
- 交流の目的の明確化
- 時間配分 など

授業の骨格づくり

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

内容の見直しを重ね…

- ・単元の目標
- ・本時の目標
- ・具体的な学びの姿
実現するため手立て
- ・手立ての振り返り(授業後)
- ・板書計画

授業構想シート【第30週 11月12日(月)～11月16日(金)】

校時 年生 授業者 教科()

1 単元・題材の目標

2 本時(/)の目標

3 主体的・対話的で深い学び(求める児童像)の具体的な学びの姿と実現するための手立て

求める児童像	具体的な学びの姿	学びの姿を実現するための手立て
児童像① 傾聴や対話を通して、相手の見 識を尊重し、自分の見識を 表現し、対話する		
児童像② 自分の考えを明確に表現し、対 話し、学びを深める		
児童像③ 他者の意見や考えを尊重し、対 話し、学びを深める		
児童像④ 学習課題の達成に向けて、対 話し、学びを深める		

4 手立ての振り返り(授業後に記入する)

5 板書計画

求める児童像を具現化するため

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

特別支援学級用

【授業構想シート（特別支援）【第30週 11月12日（月）～11月16日（金）の週】

月	日	校時	児童名	主眼書	教科（ ）
～個別学習～					
1. 本時で取り組む内容					
2.5 3.0 3.5 4.0 4.5					
本時で取り組む内容の中で特に重点を置くこと					
本時に関わる児童の実態					
重点の活動を通して強化させたい方・行動					
・実生活へ					
・手立て					
・振り返り(授業後) 等					

- ・ **本時の重点**
- ・ **子どもの実態、行動の理由**
- ・ **強化させたいこと**
- ・ **集団・実生活への活用**
- ・ **手立て**
- ・ **振り返り(授業後) 等**

授業構想シート（交流学級用）【第30週 11月12日（月）～11月16日（金）】

校時	児童	支援者	教科（ ）
～交流学級～			
1. 本時の学習課題から本時で学ばせたいこと			
2. 本時で取り組む内容			
3. 本時に関わる児童の実態			
4. 重点の活動を通して強化させたい方・行動			
5. 手立て			
6. 振り返り(授業後) 等			

- ・ **本時学習から求められる姿**
- ・ **子どもの実態、行動の理由**
- ・ **本時までに行ってきた支援**
- ・ **手立て**
- ・ **振り返り(授業後) 等**

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

【A】 授業の省察

【D】 授業実践

【C】 授業評価

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

⇒授業構想シートを用いて構想する。

①「求める児童像」に基づく、本時における「**具体的な学びの姿**」を明確にする。

②その学びの姿を**実現するための手立て**を、授業改善の視点から設定する。

授業構想シート【第1週 4月5日(木)～4月6日(金)】

校時 年生 授業者 教科()

1 単元・題材の目標

2 本時(/)の目標

3 主体的・対話的で深い学び(求める児童像)の具体的な学びの姿と実現するための手立て

求める児童像	具体的な学びの姿	学びの姿を実現するための手立て
児童像①【主】 積極的に関わり合い 進んで学ぶ様子 児童像②【対】 自分の考えを伝え たり受けたりする	①	②
児童像③【対】 相手の考えや感情を 理解しようとする		
児童像④【主】【対】 問題解決に向けて 協力し合いながら		

4 手立ての振り返り(授業後に記入する)

5 板書計画

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

【A】 授業の省察

【D】 授業実践

【C】 授業評価

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【D】 授業の実践 【C】 評価

③低・中・高・特の各ブロックを中心に1ヶ月に1回程度**授業を交流**する。

(月末のブロック会議にて、その月の成果・課題、よく月の交流授業の日にちを決める)

④授業者および参観者は、**子どもの学びの姿**を見取り、**求める児童像を具現化**したものとなっていたか、そのための**手立ては妥当**であったかを**振り返り**、構想シートに記入する。

授業構想シート【第1週 4月5日(木)～4月6日(金)】

校時 年生 授業者 教科 ()

1 単元・題材の目標

2 本時(/)の目標

3 主体的・対話的で深い学び(求める児童像)の具体的な学びの姿と実現するための手立て

求める児童像	具体的な学びの姿	学びの姿を実現するための手立て
児童像①【主】 積極的な発言や質問への 返答に意欲的		
児童像②【対】 自分の経験や考えを 話し合える		
児童像③【対】 相手の意見や考えを 傾聴し、受け止める		
児童像④【主】【対】 問題解決に向けて 協力し合う		

4 手立ての振り返り(授業後に記入する)

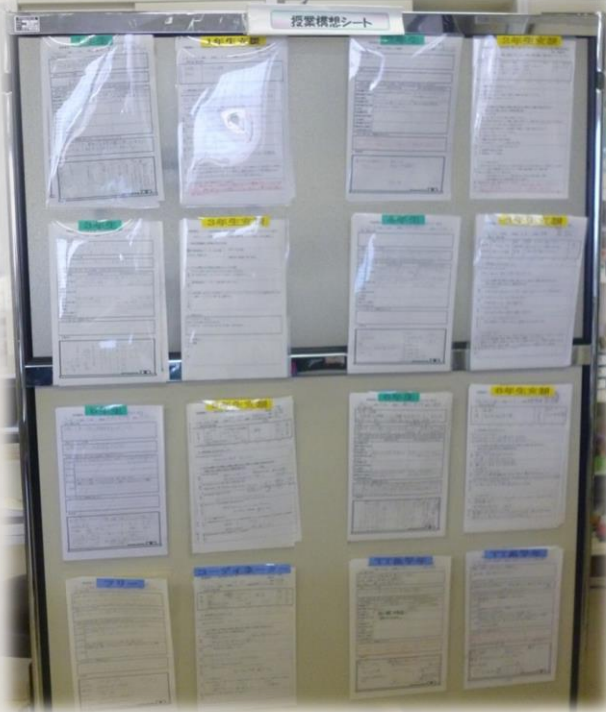
5 反省計画

4

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体



授業後には、コメントを記入して渡したり、直接意見や感想を伝えたりする

その週の授業構想シートは職員室内に掲示し、いつでも、お互いの授業を参観し合えるようにしている。

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【P】 授業の構想

【A】 授業の省察

【D】 授業実践

【C】 授業評価

【名寄東小学校の研修】

【重点③】 授業改善の日常化を図る研修体制の確立

校内研修のPDCAサイクルの具体

【A】授業の省察

- ⑥ 授業構想シートに基づく授業実践後、成果や課題、改善事項を明確にする。それを「【P】授業の構想」に活かす

日常的に授業改善を行っていき、短いサイクルでのPDCAに取り組むことで「求める児童像」に迫ることができるようにしていく。

【名寄東小学校の研修】

授業における、見える子どもの姿から、
教職員一人一人が手立てを明らかにし
子どもを見る目を養い、日々の授業改
善に取り組んで行きます。



Thank you for your kind attention.